

講 義 要 項

授業科目		共通基本技術 I		担当者	井上 美奈子 向吉 喜美代 末原 綾
区分	単位数	時間数	授 業 形 態		履修年次・前／後
	1 単位	30 時間	講義・演習		1年次・前期
授 業 目 標					
コミュニケーションや感染防止、安全確保やバイタルサインの観察や測定、看護記録などの基本的な技術を習得できる。					
単元名	目 標	内 容	時間	単位	授業方法
1. 看護技術を学ぶにあたって	1. 看護技術の特徴と適切に実践するための要素について理解できる。	1. 技術とはなにか 2. 看護技術の特徴 3. 看護技術の範囲 4. 看護技術を適切に実践するための要素 5. 看護技術の発展と修得のために	2		講義
2. コミュニケーション	1. コミュニケーションの特徴と医療におけるコミュニケーションの重要性を理解できる。 2. コミュニケーションの基本的な方法を習得できる。 3. コミュニケーション障がいがある人の特徴と効果的な対応を理解できる。 4. プロセスレコードの意味を理解し、その活用法について理解できる。	1. コミュニケーションの意義と目的 2. コミュニケーションの構成要素と成立過程 3. 関係構築のためのコミュニケーションの基本 4. 効果的なコミュニケーションの実際 5. コミュニケーション障がいへの 6. プロセスレコード	10		講義 演習
3. 感染防止の技術	1. 感染成立の条件および院内感染防止の基本を知り看護師が感染防止のための実践を行うことの重要性を理解できる。 2. 標準予防策を学び、正しく実践できる。 3. 感染経路別予防策を学び実践できる。 4. 医療機器の管理および環境整備の意義や重要性を理解できる。洗浄・消毒・滅菌について学び実践できる。 5. 無菌操作について学び実践できる。 6. 感染性廃棄物の取り扱いについて学び実践できる。 7. 針刺し防止策について理解できる。 8. 医療施設における感染管理について理解できる。	1. 感染とその予防の基礎知識 2. 標準予防策 (スタンダードプリコーション) 1) 必要な感染防護具の選択・着脱など 3. 感染経路別予防策 4. 洗浄・消毒・滅菌 5. 無菌操作 6. 感染性廃棄物の取り扱い (使用した器具の感染防止の取り扱い) 7. 針刺し防止策 8. 医療施設における感染管理	3		講義 演習

単元名	目 標	内 容	時間	単位	授業方法
4. 安全確保の技術	1. 安全確保の基礎知識が理解できる。 2. 安全確保の方法や技術を習得できる。	1. 安全確保の基礎知識 1) インシデント・アクシデントレポート 2. 誤薬防止 3. チューブ類の事故防止 4. 患者誤認防止 5. 転倒・転落防止 6. 薬剤・放射線暴露の防止	2		講義 DVD 演習
5. バイタルサインの観察	1. 看護における観察の意義について理解できる。 2. 観察の手段と方法を理解できる。 3. バイタルサイン測定と観察に必要な基礎知識を理解できる。 4. バイタルサイン測定ができる。	1. 看護における観察の意義 2. 観察の手段 3. 観察の方法 4. バイタルサインとは 5. バイタルサイン測定	10		講義 DVD 演習
6. 看護記録と報告	1. 医療・看護記録について理解できる。 2. 記録・報告の重要性を理解できる。	1. 記録の意義と目的 2. 医療における記録とその内容 3. 看護記録 4. 看護記録の書き方と種類 5. 看護における記録の目的と重要性 6. 記録するにあたっての注意事項 7. 記録の整理 8. 報告の重要性と注意事項	2		講義
		修得試験	1	1	
参考文献等	1. 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学(2), 基礎看護技術 I, 医学書院. □ 2. 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学(3), 基礎看護技術 II, 医学書院. □ 3. 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術, 医学書院. 4. 看護技術プラティクス, 学研メディカル秀潤社				
評価	1. 単位修得試験 2. 演習・課題レポート 3. 授業・演習態度 4. 出欠状況				
備考	実務経験：看護師・助産師としての豊富な知識・経験をもとに授業を行う。				